

桜

第100回高田城址公園観桜会 開催記念

歴史あるまち、歴史ある桜。
これまでも、これからも。

特集

日本有数の豪雪地帯として知られる上越市。一年の約三分の一が雪に覆われるこのまちに暮らす私たちにとって、春を迎える喜びは格別です。

そんな春の代名詞といえば、市内各地で咲き誇る「桜」。中でも、上野恩賜公園、弘前公園と並び「日本三大夜桜」に称される高田城址公園の桜は、衰退しかけたまちの再興を願って行動を起こした、先人たちにその起源を辿ることができます。

間もなく始まる「高田城址公園観桜会」は今年、記念すべき第100回。本号では、桜にまつわるまちの歴史や公園の桜を次代につなぐ長寿命化の取り組み、「お越しになる人に喜んでもらえるように」と、さまざまな取り組みで観桜会を支えてくださる皆さんを紹介します。



高田城址公園の桜、その歩み

西暦	和暦	出来事
1871	明治4	廃藩置県により高田藩が廃止。
1907	40	陸軍第十三師団の兵営地が高田に決定。
1908	41	11月1日、第十三師団が旧高田城の跡地に入営を開始。
1909	42	在郷軍人団が桜の苗木2千本を寄付する願書を第十三師団へ提出。
1911	44	9月1日、高田市が発足。
1914	大正3	4月、第十三師団兵営内の桜が咲き始める。
1917	6	第十三師団が、司令部構内および偕行社庭内の桜の花見を3日間に限り、市民に開放。
1922	11	桜の公開期間が4日間に延長される。偕行社庭内で露店の営業が許可される。
1924	13	桜の公開期間が10日間に延長される。呉服町(現在の本町3)の有志が榊神社と偕行社庭内にアーケ灯(電灯)を設置(夜桜会の開始)。
1925	14	高田商工会、高田実業連合会が、司令部通りから偕行社までの道路および偕行社庭内にぼんぼりを点灯。
1926	15	高田商工会、高田実業連合会、高田各宗教連合会が第1回観桜会を開催。
1944	昭和19	アジア太平洋戦争の戦局悪化により、観桜会が中止となる。
1946	21	観桜会が再開される。
1950	25	都市計画に基づき、高田城跡が高田公園に指定される。
1971	46	4月29日、上越市が発足。
1980	55	桜を「市の木」に制定。
1993	平成5	高田公園内に「高田城三重櫓」を復元。
2002	14	高田公園内に「極楽橋」を復元。
2014	26	「高田公園桜長寿命化計画」を策定。「桜プロジェクトJ」が始動。
2020	令和2	高田公園の名称を「高田城址公園」に変更。
2025	7	第100回高田城址公園観桜会開催。

観桜会の起源を辿る

■問合せ：上越市公文書センター（☎025・528・3110）

第十三師団の入営を祝して 植えられた桜

江戸時代、越後国の中でも有数の城下町として栄えた高田は、明治政府による廢藩置縣などを経て、政治・経済の中心地としての地位を失っていました。

高田町は、町勢の立て直しを図るために陸軍第十三師団の誘致に乗り出し、明治41年（1908）11月、高田城跡へ師団の入営が実現します。高田連隊区管内の在郷軍人団は、これを祝して管内の在郷軍人団体に寄付金を募り、

「明治42年（1909）4月12日、師団司令部に桜の苗木2千本を寄付する願書を

提出した」と、当時の高田新聞に書かれています。これが現在の観桜会につながる最初の桜といえるでしょう。

第十三師団の入営によって高田町の人口は増加。経済も活発になり、明治44年（1911）9月1日、高田市が発足しました。

師団の桜の観覧許可

桜の苗木が植えられてから5年後の大正3年（1914）には、花が咲きそうようになり、同6年には師団によって偕行社の庭内と司令部構内³が開放されます。これ以降、一般市民も中に入ってお花見ができるようになった。ただし、開



桜のいわれを記した「桜之碑」。
（市営陸上競技場入口）

と司令部構内³が開放されます。これ以降、一般市民も中に入ってお花見ができるようになった。ただし、開

放されたのはわずか3日間で、観覧時間も午前8時から午後4時までと限定されていました。また、露店は外堀より内側には入れないなど多くの制約があり、当時の高田日報は「普通のお花見気分を味わうことは絶対に不可能」と伝えています。

大正11年（1922）には桜の公開が4日間に延長され、偕行社庭内での露店の営業も許可されるなど、制約は徐々に緩和されていきました。

「観桜会」よりも先に始まった「夜桜会」

大正13年（1924）のお花見を前に、呉服町の有志が偕行社の庭内と榊神社前に「アーケ灯」を設置しました。桜の公開期間は、この年から10日間になり、アーケ

（1）予備役・後備役・退役など現役を離れた軍人の組織。（2）旧高田城二の丸に建てられた将校の集会所で、現在の小林古径記念美術館の辺り。（3）高田城の本丸跡、現在の上越教育大学附属中学校一帯。（4）現在の本町2、3丁目の辺り。

上越の春の風物詩、 桜で紡ぐ「上越今昔物語」。

公文書センターが平成30年3月から4月にかけて高田図書館で開催した所蔵資料出前展示「観桜会の起源とこれまでの歩み」の資料から、高田城址公園の桜にまつわるエピソードを紹介します。



市ホームページ



▲▶大正末期～昭和初期のものと思われる絵葉書からは、当時の観桜会の様子が伺える。
左／「偕行社内ノ夜桜」 右／「城址の桜」。右奥の建物が「偕行社」（いずれも公文書センター所蔵）



◀日本で最も多く使われた「ブラッシュ・アーケ灯」。アーケ灯は、放電現象を利用した初期の電灯。高田では明治40年（1907）に電力の供給が始まり、第十三師団の兵営地決定の一因にもなった。（写真提供：国立科学博物館。国立科学博物館地球館2階に常設展示。）

灯が灯された偕行社庭内の観覧時間も、午前0時までに大幅に延長されます。こうして、明かりのもとで夜桜を楽しむ「夜桜会」が始まりました。

第一次世界大戦後の軍縮の機運を受けて、第十三師団は大正14年（1925）5月1日をもって廃止されることとなりました。「師団の花見」が最後となるこの年、高田商工会と高田実業連合会の計画のもと、「司令部通り」から偕行社までの沿道と偕行社内に、広告入りの「ぼんぼり」が灯されました。

「観桜会」の始まり

第十三師団が廃止された翌年の大正15年（1926）、現在まで続く「観桜会」が始まりました。このときの主催団体は高田商工会・高田実業連合会・高田各宗教連合会です。第十三師団に代

わって入営した歩兵第十五旅団司令部からは、従来と同様に司令部構内と偕行社庭内が開放され、民謡大会や絵画展、農具展覧会など多彩な催し物も行われました。

この年、川合直次高田



昭和41年（1966）の観桜会。奥に見える建物は、平成19年に廃止された、三角屋根が特徴的な厚生南会館。

市長が高田日報に「長良川の鵜飼（現岐阜県岐阜市）、厳島の灯籠（現広島県廿日市市）と、まず日本の三夜景と称してよからう」と観桜会の感想を寄せ、これ以降、市民の間で「日本三夜景」の呼び名が用いられるようになりました。

その後、アジア太平洋戦争の戦局悪化に伴い、昭和19年（1944）とその翌年は観桜会が中止されますが、終戦翌年の昭和21年（1946）には再び開催されました。

桜の名所「高田城址公園」へ

戦後間もない昭和23年（1948）4月、「心とまちを美しく磨く」を目的に、勤労青年有志20名余りによって「高田を美しくする会」が結成されました。同会が桜の本数を数えたところ、1200本ほどこに減少していたため、寄付を募り、

昭和25年（1950）からの4年間で新たに570本の桜を植えるとともに、冬囲いなども行いました。この会の活動は、その後の植栽と保全活動の先駆けとなりました。

明治期に桜が植えられて以降、春にはお花見を楽しむ場所として親しまれてきた高田城跡は、昭和25年11月に「高田公園」となり、29年2月には県指定史跡にもなりました。昭和46年（1971）4月29日には上越市が発足。9年後の55年（1980）には、桜が「市の木」に指定されました。平成5年（1993）には高田城三重櫓が、14年（2002）には極楽橋が復元され、令和2年（2020）には名称を「高田城址公園」と改め、今日に至ります。



昭和44年（1969）の観桜会。当時の高田公園には動物園があり、左手奥にケージが写っている。

（5）現在の本町3丁目三差路から上越大通り・大手町交差点までの区間。（6）現在の「日本三大夜桜」が使われたのは、平成14年（2002）が最初。



上越市公文書センター
吉川 主任

「手入れをする側になって、きれいだ
なと眺めていた桜が実はこんなにも腐り、
傷んできていたのかと驚きました」と話
す小山桜守。桜の管理を樹木医に教わり、
これまで桜と向き合ってきた経験から、「桜
を腐らせる原因の一つは『腐朽菌』とい
う菌で、人間に例えると進行性の『がん』
のようなものです」と教えてくれました。
放っておくと徐々に進行し、最後は枯れ
てしまうため、傷んだ部分を早期に発見し、
早期に剪定を行うよう心がけています。

「桜が大好きで、毎年のお花見が生き
がいです」と話す福島市出身の板倉桜守は、
小さい頃から家族で楽しみにしていた地
元の中学校の桜が、今では見る影もなく
なるほど弱ってしまったのを見て、桜守
の仕事の必要性を感じていたそう。そん
な折、上越市での桜守の募集を知り、「高
田城址公園の桜を、次の世代の人たちか
らも楽しんでもらえるように」との思い
から、昨年8月に桜守に。

今後について2人は「今ある桜は寿命
を延ばし、新しく植える桜にもしつかり
手をかけて健全に育てていく。ボランティ
アの皆さんの手をお借りしながら、この
二つに並行して取り組んでいきます」と
話し、今日も観桜会に向け作業を進めます。

取り組み2

桜の守り人

さくら
もり
桜守

お花見に来られた方が
「この桜すごいねー」と話
しているのを聞くと、うれしく
てうれしくて。ついついそつ
と近づいて聞き耳を立て
てしまってます。

高温多湿な夏、重た
い雪が降る冬など、ここ
上越の気候風土に合った桜
の管理方法を見出してい
きたいです。

福島出身の新人
板倉桜守

7年目のベテラン
小山桜守

桜守の仕事って？

秋に落葉し桜が咲くまでの間は傷んだ枝の剪定を行い、桜の開花時期には、毎年決まった木・枝で花数の調査を行います。観桜会が終わると木の一本一本に「お礼肥」を行い、弱った桜の手当てをしたり夏には水をあげたりと、1年を通じて桜の管理を行っています。



傷んだ枝をチェーンソーで剪定。



切った跡には殺菌剤を塗布。

桜長寿命化の取り組みには、

ふるさと納税の寄付金も活用

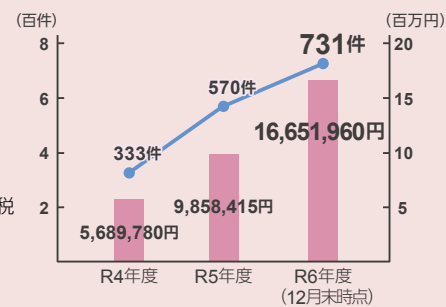
市では、ふるさと納税の使途の一つに「高田城址公園の桜の保全、公園整備」を設けており、全国各地から寄付をお寄せいただいています。寄付金は、ここで紹介した「桜プロジェクトJ」や桜守の活動の財源としても活用しています。

■問合せ…ふるさと応援室（☎025-520-5625）



ふるさと納税

「高田城址公園の桜の保全、公園整備」を使途として
寄付いただいた「ふるさと納税」の件数と寄付額



【寄付者からの応援コメント】

上越市出身です。高田城址公園の桜並木が大好きです。きれいな夜桜を、もっとたくさんの人に知ってもらいたいです。（栃木県から）



上越市の皆さまが春の到来を喜べるように、桜の保全に寄付させていただきます。がんばれ上越市！（福岡県から）

Part 2

桜を守り、育てる

次の世代につなぐために

■問合せ…都市整備課（☎025-520-5766）

ソメイヨシノの寿命は60年程度といわれており、高田城址公園には、すでにその年数を超えていると考えられる桜もあります。そのため、市では公園の桜を「桜の名所」にふさわしい良好な状態で管理すること、計画的な世代更新を実施することを目的として、平成26年3月に「高田公園（城址公園）桜長寿命化計画」を策定しました。この計画に基づき、「桜守」を配しての桜の日常管理や、市民の皆さんと一緒に桜の保全活動・魅力発信などに取り組んでいます。今後も市民の皆さんや専門家と連携しながら、桜の維持管理を進めていきます。



高田城址公園
桜長寿命化計画

取り組み1

市民の皆さんと一緒に

桜プロジェクトJ

「高田城址公園の桜を100年後に残そう！」をスローガンに、平成26年度に発足したのが、市と市民との協働の取り組み「桜プロジェクトJ」です。毎年、桜が散った後に行う肥料やり「お礼肥」や落ち葉を使った腐葉土作りなど、季節ごとの桜の手入れを行っています。また、近年は地球温暖化の影響もあり、今まで以上に木が弱っていることから、現状を踏まえて、夏の水やりなど、より桜に寄り添った活動にも取り組んでいます。桜を守り、後世に伝えていくには、まずは一人でも多くの市民の皆さんから桜とこの活動に興味・関心を持っていただくことだと思っています。お気に入りの桜を見つけ、見守って欲しいですし、春から一緒に活動してくださる方をお待ちしています。



桜プロジェクトJリーダー
鈴木さん

あなたも参加しませんか？

令和7年度の活動日程は、決まり次第ホームページでお知らせします。参加方法など詳しくは、市ホームページをご覧ください。

▶活動場所…高田城址公園内

▶対象…どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）

■問合せ…都市整備課（☎025-520-5766）



桜プロジェクトJ



1) 観桜会終了後、桜をぐるっと囲むように地面に小さな穴を開け、肥料を入れていく。2) ソメイヨシノ以外の桜には品種名が書かれた「名札」が巻かれ、毎年交換している。3) 夏は暑さ対策のため、器具を地中に差し込んで水やりも。4) 秋は落ち葉を集め、集めた落ち葉で堆肥作りを行う。

上越緑の少年団

市内の小学4～6年生が参加し、緑や自然とのふれあいを通じて自然を大切にすることを学び、豊かな心を育てることを目的に活動する「上越緑の少年団」。例年、観桜会終了後の4月に、環境保全団体「エコ・グリーン」の皆さんと一緒に桜の観察会とお礼肥を行っています。

※令和7年度の団員を募集しています。詳しくは市ホームページをご覧ください。

■問合せ…農林水産整備課（☎025-520-5759）



上越緑の少年団



令和6年度は、団員33名が桜の観察とお礼肥を実施。固い地面に苦戦しながらも器具を使って穴を開けていき、35本の桜に栄養を補給。

今、私たちにできることを
上越教育大学附属中学校

地域の魅力発信と地域振興について学ぶ「総合学習」で、現在の2年生全員で観桜会期間中にさまざまな活動をしました。「来場者の皆さんがきれいな公園で桜を見てもらえるように」と考え行った清掃活動では、予想以上にたくさんのごみが落ちていたことに驚きました。公園内にごみがなくなれば、桜もよりきれいに見えると思います。たくさんの人から公園のきれいな桜を見てもらいたいの、これからも清掃活動を続けていくことが大切だと感じました。

私の“推し”スポット
南堀を歩きながら見る桜の景色が好きです。

上越教育大学附属中学校

小池さん

川田さん

観桜会を盛り上げるために私たちに何ができるかをみんなで考え、公園内でパネルを使って上越の魅力をお越しいただいた皆さんに紹介したり、スタンプラリーを行ったりしました。皆さんが楽しんでいる姿を見て、「やってよかった！」と達成感でいっぱいになりました。これからも自分たちにできることを続けて、いつまでもみんなで桜を楽しめるようにしていきたいです。

私の“推し”スポット
お城と一緒に見る桜が
すごく好きです。



案内看板で足を止め、
かつてここにお城が
あったことを説明。

心を込めてご案内します
観光ボランティアガイド

会期中は北海道から九州まで、大勢の方が日本各地からはるばる上越に来てくださっています。近年は、海外からのお客様をご案内する機会も増えました。たくさんの方の手で守られてきた桜ですので、私たちはガイドの活動を通じてその魅力を伝え、次の100年につなげられるよう、取り組んでいきます。



観光ボランティアガイド
かんべ 神戸さん

「来てよかった」、「また来たい」と言ってもらえるように、桜の良さとまちの魅力をお伝えしています。

観桜会の会期中、私たちは高田スポーツセンター北側駐車場内の詰め所にいます。ぜひ、お声がけください。



観光ボランティアガイドの皆さん。現在は約50人が登録しており、今年も交代でガイドを行う。

Part 3

観桜会を支える市民の取り組み

◀▼2人1組になって、園内の街路灯52基を清掃。

きれいな街路灯でお迎え
上越市電設業協会

私たちの活動は、昭和46年頃、公園に街路灯が新設されたことがきっかけで始まりました。「夜桜を見に来る皆さんに、きれいな街路灯のもとで桜を楽しんでもらいたい」との思いで毎年取り組んでいます。高田には、春の桜以外にも四季折々の魅力がありますので、一年を通じてたくさんの人から足を運んでもらいたいですね。

明るくきれいな公園で、
夜桜を楽しんでもらいた
いです。



上越市電設業協会 監事
梨本さん

きれいな公園を、より美しく
高田東ロータリークラブ

観桜会での清掃活動は、今から約40年前、クラブ会員の発意から、社会奉仕の取り組みとして始まりました。近年ではお花見のマナーも良くなってきており、ごみは以前と比べ目立たないようになってきています。これからも公園をきれいな状態で保っていくために、仲間と一緒にこの活動を続けていきたいです。

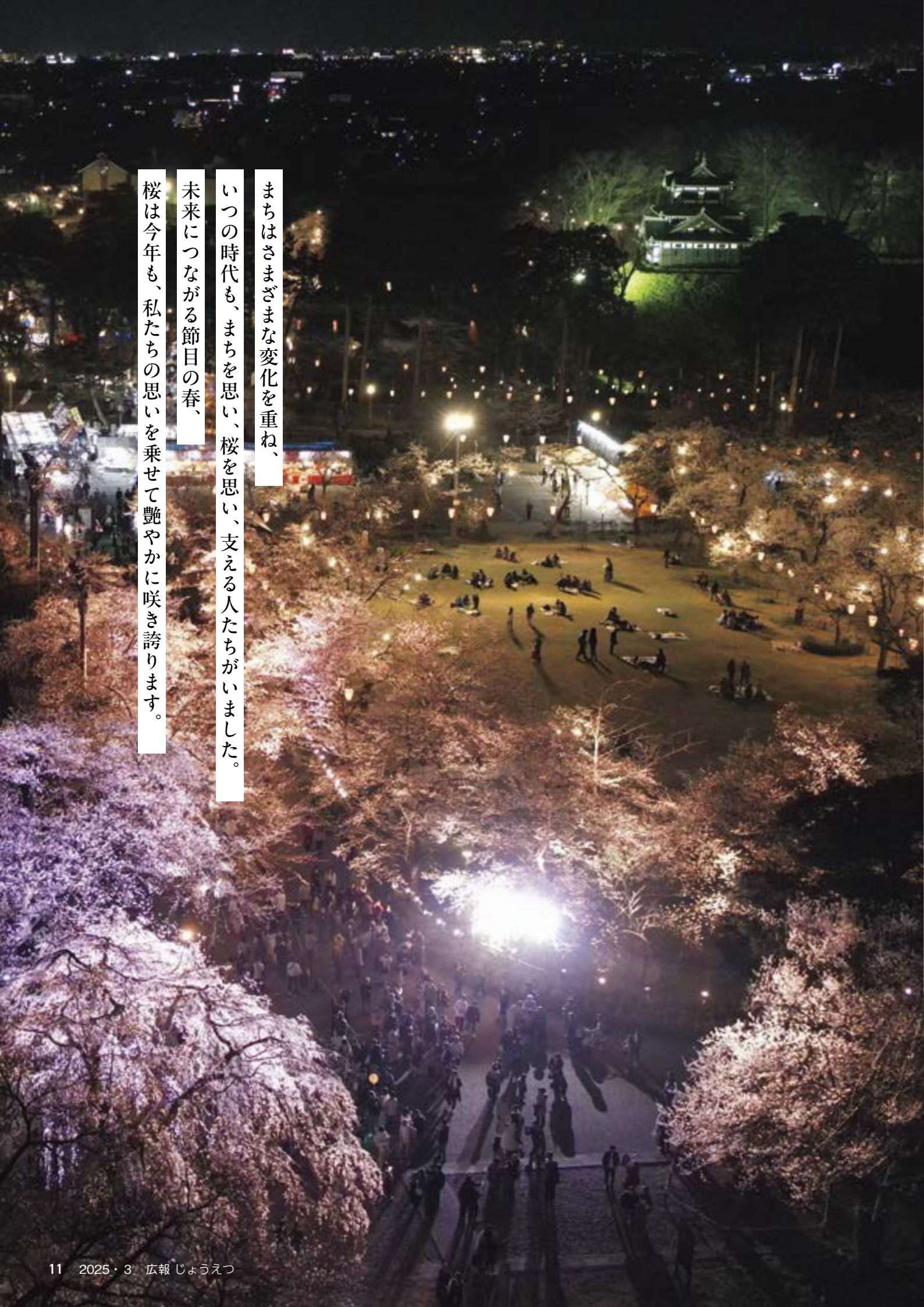
他団体の皆さんとも協力
して、清掃活動に取り組
んでいます。



高田東ロータリークラブ
社会奉仕委員会副委員長
かいせ 海瀬さん



令和6年4月の活動での1枚。(左側は日本大学上越校門会の皆さん)



桜は今年も、私たちの思いを乗せて艶やかに咲き誇ります。

未来につながる節目の春、

いつの時代も、まちを思い、桜を思い、支える人たちがいました。

まちはさまざまな変化を重ね、



第100回 観桜会

高田城址公園

会期 3月28日金 ▶ 4月13日日



上越観光Navi

■問合せ…(公社)上越観光コンベンション協会(☎025-543-2777)
観光振興課(☎025-520-5741)

会期中の主なイベント

- 第100回記念植樹
- 第100回特別ライトアップ(桜見本園ほか)
- ミュージックスターマインの打ち上げ
- オーレンプラザでの「さくらステージ」
- 芝生広場での各種イベント開催
- オープントップバスの運行 など

※各イベントの詳細は、決まり次第「上越観光Navi」でお知らせします。

駐車場のご案内

- 会期中、公園内の駐車場(高田図書館駐車場を含む)は利用できません。鉄道や路線バスなどの公共交通機関を利用するか、周辺に開設する臨時駐車場や有料の駐車場シェアサービス「軒先パーキング(要予約)」を利用いただき、徒歩またはシャトルバスでご来場ください。



駐車場予約

※高田図書館は、会期中も通常どおり開館します。

- 会期中、会場周辺に空き駐車場・空き地をお持ちの個人や法人を募集します。「軒先パーキング」で土地を有効活用しませんか。

■問合せ…(株)軒先
(☎03-6869-3003)



駐車場登録

会場周辺で交通規制を実施します



期 日	規制時間	規制区間
3月27日㊦ ～4月15日㊧	終 日	西堀通り(地図中の破線部)
3月28日㊨	午後6時 ～7時	大手町交差点～極楽橋
桜最盛期の 土・日・曜 日	午前10時 ～午後9時	大手町交差点～県振興局 前交差点、 高田駐屯地～極楽橋

※交通規制実施中、路線バスは迂回運行します。
詳しくは、各路線バス会社に問い合わせてください。

会場で、お待ちしております！



上越観光コンベンション協会、上越商工会議所の皆さん

ふるさと納税を活用したクラウドファンディングを実施中！

市では4月13日㊨まで、第100回の節目を祝い、歴史ある観桜会を未来につなげるために実施する「記念植樹」などの記念事業を応援いただく「クラウドファンディング」を実施中です。お寄せいただく寄付金は、記念事業の運営費に充てられます。

■問合せ…ふるさと応援室
(☎025-520-5625)



ふるさとチョイスGCF



この春は桜の名所は市内各地にも！桜スポット巡りに出かけよう！

「上越観光Navi」では、有名な桜の名木からローカルなお花見スポットまで、市内各地の桜スポットを紹介しています。この春は、桜スポット巡りに出かけください。



市内の桜スポット
(上越観光Navi)

